

日向東臼杵広域連合財政事情の作成及び公表に関する条例第 2 条の規定により準用する財政事情の作成及び公表に関する条例（昭和 26 年日向市条例第 21 号）第 2 条により公表します。

平成 29 年 5 月 1 日

日向東臼杵広域連合長 十 屋 幸 平

# 日向東臼杵広域連合財政事情の公表

## 【はじめに】

日向東臼杵広域連合では、「日向東臼杵広域連合財政事情の作成及び公表に関する条例」に基づき、日向東臼杵広域連合の財政がどのように運営され、どのような状況にあるのかを知っていただくため、毎年5月と11月の2回「財政事情」を公表しています。

今回は平成29年度当初予算についてその概要を紹介します。

## 【平成29年度当初予算について】

「第4向日向東臼杵広域連合広域計画」に掲げる基本方針に基づき、構成市町村（日向市、門川町、美郷町、諸塚村、椎葉村）の生活環境の保全、住民福祉の増進を第一に考え、安全で安定した施設の管理運営と住民サービスの向上を念頭に予算編成を行いました。

平成29年度当初予算の歳入歳出総額は、5億9,600万円、前年度と比較して400万円、率にして0.7%の増となっています。

歳入で主なものとしては、事務事業ごとの負担割合に応じた構成団体からの分担金です。

歳出の主なものは、清掃センター基幹的設備改良事業に伴い、平成26年度の清掃センター基幹工事に伴い借入れた組合債の元金償還の開始によるものや、東郷霊苑日向斎場の屋外トイレ設置工事の増によるものです。

### 予算の状況

(単位：千円)

区 分	平成29年度 当初予算額	平成28年度 当初予算額	対前年度増減額	増減率
歳入歳出総額	596,000	592,000	400	0.7%

## 1. 歳入について

歳入は、自主財源の割合が大きく、主な内訳としては、構成市町村からの分担金が約5億700万円、負担金が約5,500万円と、歳入全体の約95%を占めています。

前年度と比較し、負担金収入が増額となりました。これは、歳出における組合債の償還金の一部が交付税措置されますので、償還金の額が前年度と比較して増額となることに伴い、交付税収入も増となることによるものです。

歳入の状況

(単位：千円・%)

区 分		平成 29 年度	構成比	平成 28 年度	構成比	増減額	対前年度比
自主財源	分担金及び負担金	562,216	94.4	564,235	95.3	△2,019	△0.4
	使用料及び手数料	27,601	4.6	27,601	4.7	0	0.0
	財 産 収 入	94	0.0	106	0.0	△12	△11.3
	寄 附 金	1	0.0	1	0.0	0	0.0
	繰 入 金	6,001	1.0	0	0.0	6,001	皆増
	繰 越 金	1	0.0	1	0.0	0	0.0
	諸 収 入	83	0.0	53	0.0	30	56.6
	計	595,997	100.0	591,997	100.0	4,000	0.7
依存財源	国 庫 支 出 金	1	0.0	1	0.0	0	0.0
	県 支 出 金	1	0.0	1	0.0	0	0.0
	組 合 債	1	0.0	1	0.0	0	0.0
	計	3	0.0	3	0.0	0	0.0
歳 入 合 計		596,000	100.0	592,000	100.0	4,000	0.7

【参考】

自主財源：地方公共団体が自主的に収入するもの

依存財源：国・県の意思決定に基づき収入するもの

2. 歳出について

歳出予算では、目的別【表1】にみると、公債費が前年度と比較して10.9%の増となっています。これは、平成25年度清掃センター基幹工事に伴い借り入れた分の元金償還が、1,487万円ほど新たに始まったことがあげられます。また、衛生費が2.1%の減となっています。おもな理由は、清掃センターの設備台帳整備が平成28年度のみで完了したこと、光熱水費の減少があります。

歳出の主なものとしては、事業別【表3】にみると、まず、斎場施設事業は、東郷霊苑の施設整備及び運転管理に要する経費です。主なものとしては、火葬を行うための燃料費、斎場運転管理業務委託料、また、火葬炉設備B系統バグフィルターろ布取替工事、B及びC系統誘引排風機取替工事、屋外トイレ設置工事費等です。

最終処分場事業の主なものは、日向市を除く2町2村から排出される不燃物の処理残渣処理に伴う日向市への負担金です。

次に、ごみ処理事業は、清掃センター運転管理業務委託費、清掃センター維持補修工事、また、清掃センターで焼却した燃やせるごみの焼却灰の埋立処理に伴う最終処分場施設利用負担金が必要なものとなっています。維持補修工事の主なものとしては、1号ごみクレーンバケット更新工事、焼却炉ごみ投入部分及び出口部分改修工事等です。

今後も財政運営にあたりましては、限られた財源をいかに工夫、活用していくかを念頭に置き、自主財源の確保に努めるとともに経費の節減を図り、財政の健全化に努めていきます。

【表1】歳出予算（目的別）表

（単位：千円・％）

区 分	平成 29 年度		平成 28 年度		増減額	対前年度比
	予 算 額	構成比	予 算 額	構成比		
議 会 費	1,062	0.2	1,106	0.2	△44	△4.0
総 務 費	34,199	5.7	34,804	5.9	△605	△1.7
衛 生 費	422,318	70.9	431,206	72.8	△8,888	△2.1
公 債 費	137,421	23.0	123,884	20.9	13,537	10.9
予 備 費	1,000	0.2	1,000	0.2	0	0.0
合 計	596,000	100.0	592,000	100.0	27,000	0.7

【表2】歳出予算（性質別）表

（単位：千円・％）

区 分		平成 29 年度		平成 28 年度		増減額	対前年度比
		予 算 額	構成比	予 算 額	構成比		
経 義 務 的 費	人 件 費	66,214	11.1	66,198	11.2	16	0.0
	扶 助 費	660	0.1	240	0.1	420	275
	公 債 費	137,421	23.1	123,884	20.9	13,537	10.9
	計	204,295	34.3	190,322	32.3	13,973	7.3
経 投 資 的 費	普 通 建 設 事 業 費	72,000	12.1	65,400	11.0	6,600	10.1
	計	72,000	12.1	65,400	11.0	6,600	10.1
行 政 経 費 其 他 の	物 件 費	239,133	40.1	252,350	42.6	△13,217	△5.2
	維 持 補 修 費	11,170	1.9	11,400	1.9	△230	△2.0
	補 助 費 等	66,402	11.1	69,528	11.7	△3,126	△4.5
	積 立 金	2,000	0.3	2,000	0.3	0	0
	予 備 費	1,000	0.2	1,000	0.2	0	0
	計	319,705	53.6	336,278	56.7	△16,573	△4.9
合 計		596,000	100.0	592,000	100.0	4,000	0.7

## 【参考】

義務的経費：支出が義務づけられ任意に削減できない経費

投資的経費：支出の効果が資本形成に向けられ、施設等が将来に残るものに支出される経費

その他の行政経費：支出の効果が、当該支出年度又は極めて短期間で終わる経費

【表3】歳出予算（事業別）表

(単位：千円・%)

区 分	平成 29 年度		平成 28 年度		増減額	対前年度比
	予算額	構成比	予算額	構成比		
議 会	1,062	0.2	1,106	0.2	△44	△4.0
総 務	35,199	5.9	35,804	6.0	△605	△1.2
斎場施設事業	119,387	20.0	114,626	19.4	4,761	4.2
最終処分場事業	10,557	1.8	15,198	2.6	△4,641	△30.5
ごみ処理事業	429,795	72.1	425,266	71.8	4,529	1.1
合 計	596,000	100.0	592,000	100.0	4,000	0.7